



A		修正、ノードタイプ	9-19
ATA 186 のデフォルト、設定	10-8	追加、ノードタイプ	9-18
ATA 188 のデフォルト、設定	10-10	ノードに対するノードタイプの関連付けと関連付け解除	9-20
B		ユーザの管理	9-2?9-4
BACC (BAC)、定義	1	削除、ユーザ	9-4
BACC の機能、概要	1-1	修正、ユーザ	9-3
BACC の使用方法	9-1?9-28	新規ユーザの追加	9-2
サーバ、表示	9-21?9-28	BACC の設定	10-1?10-41
DPE、リスト	9-21	DHCP 基準	10-25?10-26
Network Registrar 拡張ポイントのリスト	9-24	基準の削除	10-26
RDU の詳細	9-27	基準の修正	10-26
プロビジョニング グループ、リスト	9-26	基準の追加	10-25
デバイス、管理	9-5?9-17	FQDN、自動生成	10-40?10-41
Manage Devices ページ	9-5	形式	10-40
コントロール	9-6	検証	10-41
削除、デバイス	9-15	プロパティ	10-40
説明	9-14	例	10-41
デバイス構成、再生成	9-16	RDU および DPE 上での SNMPV3 クローン作成	10-39
デバイスの関連付けと関連付け解除	9-16	キー関連情報	10-39
デバイスの検索	9-8	キーの生成	10-39
デバイスの修正	9-15	RDU 拡張、管理	10-34?10-35
デバイスの詳細、表示	9-9	新しいクラス、作成	10-34
デバイスの追加	9-14	カスタム拡張ポイント、インストール	10-34
デバイスの登録解除	9-17	表示	10-35
デバイスのリセット	9-17	SRV レコード、Network Registrar DNS サーバの	10-38
ノード、管理	9-18?9-20	外部ファイル、管理	10-27?10-31
削除	9-20	ファイルのエクスポート	10-31
修正	9-20	ファイルの削除	10-31
詳細、表示	9-20	ファイルの置換	10-30
追加	9-19	ファイルの追加	10-28
ノードに対するノードタイプの関連付けと関連付け解除	9-20	ファイルの表示	10-29
ノードタイプ、管理	9-18	カスタム プロパティ	10-7
削除、ノードタイプ	9-19	サービス クラス	10-2?10-6
		クラスの追加	10-3
		削除	10-5

- 修正 10-4
- デフォルト 10-8?10-24
 - ATA 186 のデフォルト 10-8
 - ATA 188 のデフォルト 10-10
 - CableHome WAN Defaults 10-10
 - Computer Defaults 10-13
 - DOCSIS Defaults 10-14
 - Network Registrar Defaults 10-16
 - PacketCable Defaults 10-18
 - 設定オプション、選択 10-8
 - プロビジョニング データ、パブリッシング 10-36?10-37
 - データストアの変更 10-36
 - プラグイン設定、変更 10-37
 - ライセンス キー、管理 10-32?10-33
 - ライセンスの修正 10-33
 - ライセンスの追加 10-33
- C**
- CableHome
 - WAN Defaults、設定 10-10
 - WAN-Man Defaults、設定 10-12
 - 設定 6-1?6-4
 - Device Provisioning Engine 6-4
 - Network Registrar 6-3
 - RDU 6-3
 - ノンセキュア プロビジョニング フロー 6-2
 - プロビジョニング
 - サポート 1-3
 - チェックリスト (ノンセキュア) 3-14
- CableHome の設定 6-1?6-4
 - DPE 6-4
 - Network Registrar 6-3
 - RDU 6-3
- CableLabs サービス プロバイダー 証明書信頼階層 5-22
 - 運用上の補助証明書 5-25
 - PacketCable サーバ証明書 5-26
 - 鍵発行局 (KDC) 証明書 5-25
 - 配送機能 (DF) 証明書 5-26
 - サービス プロバイダー CA 証明書 5-23
 - ルート証明書 5-22
- CMTS (ケーブル モデム ターミネーション システム)
 - 共有秘密情報、定義 4
 - 定義 1
- Configuration メニューについて 8-6
- D**
- Devices メニューについて 8-6
- DHCP
 - Network Registrar、および～ 2-12
 - 基準のデフォルト、設定 10-25?10-26
 - 基準の削除 10-26
 - 基準の修正 10-26
 - 基準の追加 10-25
 - 状態、および DOCSIS 設定 4-6
- disk_monitor.sh ツール 12-54
- DNS (ドメイン ネーム システム)、Network Registrar、および～ 2-12
- DOCSIS (Data Over Cable Service Interface Specification)
 - DOCSIS ネットワークのトラブルシューティング 4-5
 - 機能 4-4?4-5
 - DOCSIS 1.0、1.1、2.0 のサポート 4-5
 - 動的設定 TLV 4-4
 - 共有秘密情報、定義 4
 - 高速データのサポート 1-2
 - 設定 4-1?4-32
 - ネットワーク層以上 4-6?4-9
 - ワークフロー、完全な 4-1?4-3
 - ワークフロー、チェックリスト 3-7
 - 定義 1
- DOCSIS の設定
 - ネットワーク層以上
 - DHCP 状態 4-6
 - ToD 状態 4-7
 - セキュリティ アソシエーション状態 4-7
 - 設定ファイル状態 4-8
 - 動作状態 4-9
 - 登録状態 4-8
 - プライバシー状態の確立 4-8
 - ワークフロー
 - 完全な 4-1?4-3
 - チェックリスト 3-7
- DPE (Device Provisioning Engine)
 - BACC のアーキテクチャ、および～
 - dpe.log ファイル、表示 2-24
 - ログ 2-22
 - dpe.log ファイル、表示 2-24
 - DSS、および～ 2-9

- DSS のリセット 2-10
 - SNMPV3 クローン作成、設定 10-39
 - キー関連情報 10-39
 - キーの生成 10-39
 - Solaris DPE のアラート A-3
 - DPE-1-102 A-3
 - DPE-1-104 A-3
 - DPE-1-109 A-3
 - Solaris DPE のチェックリスト 3-4?3-5
 - TACACS+、および DPE 認証 2-7
 - クライアント設定 2-8
 - 特権レベル 2-8
 - TFTP サーバ、および～ 2-9
 - サーバの割り当て 2-8
 - 種類 2-6
 - Solaris DPE 2-7
 - ハードウェア DPE (Device Provisioning Engine) 2-6
 - 設定 6-4
 - 説明 2-6
 - 定義 1
 - ハードウェア DPE のチェックリスト 3-3?3-4
 - ライセンス キー 2-7
 - リスト
 - 現在登録されている DPE 9-21
 - サーバ 8-6
- DSS (DOCSIS 共有秘密情報)、および DPE
 - DSS のリセット 2-10
 - 説明 2-9
- DSTB、定義 2
- E**
- Ethereal、パケット キャプチャ ツール 5-12
 - Euro-PacketCable
 - 音声サービスのサポート 1-2
 - サポート、および KDC 2-15
 - 設定 5-6
- F**
- FQDN (完全修飾ドメイン名)
 - 自動生成 10-40?10-41
 - 形式 10-40
 - 検証 10-41
 - プロパティ 10-40
 - 例 10-41
 - 定義 2
- G**
- GUI (「管理者のユーザ インターフェイス」を参照)
- I**
- IP アドレス、定義 2
 - ISP、選択 11-3
- K**
- KDC (鍵発行局)
 - BACC のアーキテクチャ、および～ 2-14?2-17
 - Euro-PacketCable のサポート 2-15
 - 証明書 2-16
 - デフォルトの KDC のプロパティ 2-14
 - 複数領域のサポート 2-17
 - ライセンス 2-16
 - 証明書、管理 12-42?12-44
 - PKCert ツールの実行 12-42
 - 検証 12-44
 - 作成 12-43
 - 定義 2
 - Keygen ツール 12-47?12-48
- M**
- MAC アドレス、定義 2
 - MIB
 - BACC のアーキテクチャ、および～ 2-18
 - CableHome、および SNMP Varbind 12-7
 - DOCSIS、および SNMP Varbind 12-6
 - DPE SNMP エージェント、および MIB サポート 2-19
 - Euro-PacketCable と PacketCable の音声設定 5-7
 - PacketCable、および SNMP Varbind 12-7
 - TLV 38 と MIB のサポート 5-6
 - MSO、定義 2
 - MTA (メディア ターミナル アダプタ)
 - 製造業者 CVC、および DOCSIS 5-21
 - 定義 2

- N**
- NAT (ネットワーク アドレス変換)、定義 2
- Network Registrar
- DHCP、および～ 2-12
 - DNS、および～ 2-12
 - DNS サーバの SRV レコード、設定 10-38
 - SRV レコード、DNS サーバの、設定 10-38
 - アーキテクチャ 2-12?2-13
 - 拡張ポイントのアラート A-5
 - NR_EP-1-106 A-5
 - NR_EP-1-107 A-5
 - NR_EP-6-108 A-5
 - NR_EP-6-109 A-5
 - NR_EP-6-110 A-5
 - 拡張ポイントのリスト 9-24
 - サーバ、リスト 8-6
 - 設定 6-3
 - 説明 2-12?2-13
 - DHCP、および～ 2-12
 - DNS、および～ 2-12
 - リース予約 2-13
 - デフォルト、設定 10-16
 - リース予約 2-13
 - ワークフロー チェックリスト 3-6
- Network Registrar の設定 6-3
- SRV レコード、DNS サーバの 10-38
 - デフォルト 10-16
 - ワークフロー チェックリスト 3-6
- NR、定義 2
- NRProperties.sh ツール 12-45?12-46
- NTP、定義 2
- P**
- PacketCable
- BACC プロパティ、DHCP オプションへのマッピング B-1?B-3
 - オプション 122 と BACC プロパティの比較 B-2
 - オプション 177 と BACC プロパティの比較 B-3
 - MTA、SNMPV3 クローン作成、および～ 10-39
 - キー関連情報 10-39
 - キーの生成 10-39
 - 音声サービスのサポート
 - Euro-PacketCable 1-2
 - ノンセキュア 1-2
 - 標準 1-2
 - デフォルト、設定 10-18
 - RDU Defaults 10-20
 - xGCP Gateway Control Protocol Defaults 10-24
 - システム デフォルト 10-22
 - ワークフロー チェックリスト 3-8?3-14
 - Euro-PacketCable 3-12
 - PacketCable 3-8
 - ノンセキュア PacketCable 3-10
 - PacketCable 音声設定 5-1?5-31
 - eMTA プロビジョニング、トラブルシューティング 5-8?5-11
 - 基本変数 5-10
 - コンポーネント 5-8
 - Euro-PacketCable の MIB 5-7
 - Euro-PacketCable 5-6
 - PacketCable BASIC 5-5?5-6
 - SNMP v2C 通知 5-6
 - TLV 38 と MIB のサポート 5-6
 - PacketCable のセキュアな 5-2?5-4
 - PacketCable のフロー 5-2
 - 証明書信頼階層 5-17?5-31
 - CableLabs サービス プロバイダー 5-22
 - MTA デバイス証明書 5-21
 - MTA デバイス証明書階層 5-19
 - 検証 5-18
 - コード検証 5-28
 - 失効 5-28
 - トラブルシューティングのシナリオ 5-13?5-16
 - トラブルシューティングのツール 5-12
 - Ethereal、SnifferPro など 5-12
 - ログ 5-12
 - PacketCable の eMTA プロビジョニング、トラブルシューティング 5-8?5-11
 - 基本変数 5-10
 - MTA 設定ファイル 5-11
 - 証明書 5-10
 - スコープ選択タグ 5-11
 - コンポーネント 5-8
 - Call Management Server 5-10
 - DHCP サーバ 5-9
 - DNS サーバ 5-9
 - PacketCable プロビジョニング サーバ 5-9
 - 鍵発行局 5-9
 - 組み込み型 MTA 5-8
 - PacketCable の証明書信頼階層 5-17?5-31

- MTA デバイス証明書 5-21
 - MTA デバイス証明書階層 5-19
 - MTA 製造業者証明書 5-20
 - MTA ルート証明書 5-19
 - 検証 5-18
 - PacketCable の設定 5-175-31
 - Euro-PacketCable 5-6
 - PacketCable BASIC 5-5
 - SNMP v2C 通知 5-6
 - TLV 38 と MIB のサポート 5-6
 - PacketCable のセキュアな 5-2
 - 証明書信頼階層 5-1775-31
 - CableLabs サービス プロバイダー証明書階層 5-22
 - MTA 階層 5-19
 - MTA デバイス証明書 5-21
 - コード検証証明書階層 5-28
 - 証明書失効 5-28
 - 証明書の検証 5-18
 - トラブルシューティング、eMTA プロビジョニング 5-8, 5-11
 - 基本変数 5-10
 - コンポーネント 5-8
 - トラブルシューティングのシナリオ 5-1375-16
 - トラブルシューティングのツール 5-12
 - Ethereal、SnifferPro など 5-12
 - ログ 5-12
 - PKCert.sh ツール 12-42712-44
 - KDC 証明書、検証 12-44
 - KDC 証明書、作成 12-43
 - 実行 12-42
- R**
- RDU (Regional Distribution Unit)
 - SNMPV3 クローン作成、設定 10-39
 - キー関連情報 10-39
 - キーの生成 10-39
 - アラート A-2
 - BPR-RDU-4-1140 A-2
 - RDU-1-101 A-2
 - RDU-1-103 A-2
 - RDU-1-111 A-2
 - RDU-1-115 A-2
 - エラー メッセージ A-67A-9
 - AddReservation: AX_ETIME A-8
 - AddReservation: FORWARD_FAILED A-7
 - AddReservation: INVALID_OBJECT A-8
 - AddReservation: INVALID_PARENT A-7
 - AddReservation: INVALID_SECOND_PARENT A-7
 - AX_EIO A-9
 - AX_EPIPE A-9
 - OBJECT_EXISTS A-6
 - RemoveReservation: NOT_FOUND A-7
 - Selection-criteria exclusion tags ignored A-8
 - 拡張、管理 10-34710-35
 - 新しいクラス、作成 10-34
 - カスタム拡張ポイント、インストール 10-34
 - 表示 10-35
 - 詳細、表示 9-27
 - 設定、および CableHome 6-3
 - WAN-Data 6-4
 - WAN-Man 6-3
 - 説明 2-472-5
 - 構成の生成 2-4
 - サービス レベル選択 2-5
 - フェールオーバー 2-5
 - 定義 3
 - データベースの移行 7-8
 - リスト 8-6
 - ログ 2-22
 - ログ レベル ツール 12-39712-41
 - 現在のログ レベル、表示 12-41
 - 使用方法 12-39
 - 設定 12-40
 - ワークフロー チェックリスト 3-2
- S**
- Servers メニューについて 8-6
 - SnifferPro、パケットキャプチャ ツール 5-12
 - SNMP
 - PacketCable eMTA 上でのクローン作成 (使用例) C-41
 - SNMP エージェント
 - 開始 12-51
 - コミュニティ、削除 12-51
 - コミュニティ、追加 12-50
 - 設定、リスト 12-53
 - 停止 12-51
 - 場所、変更 12-52

- snmpAgentCfgUtil.sh コマンド 12-49
 - SNMP 通知タイプ、指定 12-53
 - SNMP の連絡先、新規設定 12-52
 - SNMP リスニング ポート、指定 12-52
 - ホスト、削除 12-50
 - ホスト、追加 12-49
 - SNMPV3 クローン作成、RDU および DPE 上での設定 10-39
 - キー関連情報 10-39
 - キーの生成 10-39
 - SRV レコード、Network Registrar DNS サーバの、設定 10-38
 - SUI (サンプル ユーザ インターフェイス)
 - BACC のアーキテクチャ、および～ 2-24
 - サンプルの sampleui.properties ファイル 11-12?11-14
 - 設定 11-1?11-14
 - ISP、選択 11-3
 - 開始および停止 11-2
 - 管理者アクセス レベル 11-4
 - 技術者ログイン、使用方法 11-3
 - サービス クラス 11-3
 - サンプルの設定オプション 11-3?11-4
 - 無差別モード 11-3
 - 説明 11-2
 - SUI の設定 11-1?11-14
 - 加入者プロビジョニングの例 11-5?11-7
 - 標準の顧客宅内機器登録 11-5
 - 無差別モードの顧客宅内機器登録 11-6
 - 管理者プロビジョニングの例 11-8?11-11
 - アカウントの検索 11-8
 - アカウントの保守 11-9
 - サンプルの sampleui.properties ファイル 11-12?11-14
 - サンプルの設定オプション 11-3?11-4
 - ISP、選択 11-3
 - 管理者アクセス レベル 11-4
 - 技術者ログイン、使用方法 11-3
 - サービス クラス 11-3
 - 無差別モード 11-3
- T
- TFTP、定義 3
 - TLV、定義 3
 - ToD 状態、DOCSIS 設定のための確立 4-7
 - Trivial File Transfer Protocol、定義 3
- Type Length Value、定義 3
- U
- uBr、定義 3
 - uBR7246 デバイスとデバッグ コマンドに関する注意 4-7, 4-19
 - Users メニューについて 8-7
 - 管理者 8-7
 - 読み取り / 書き込みユーザ 8-7
 - 読み取り専用ユーザ 8-7
- V
- VoIP、定義 3
- X
- XGCP、定義 3
- あ
- アーキテクチャ 2-1?2-24
 - DPE 2-6
 - DSS、および～ 2-9
 - TACACS+、および DPE 認証 2-7
 - TFTP サーバ、および～ 2-9
 - サーバの割り当て 2-8
 - 種類 2-6
 - ライセンス キー 2-7
 - KDC 2-14?2-17
 - Euro-PacketCable のサポート 2-15
 - 証明書 2-16
 - デフォルトの KDC のプロパティ 2-14
 - 複数領域のサポート 2-17
 - ライセンス 2-16
 - MIB 2-18
 - Network Registrar 2-12?2-13
 - DHCP、および～ 2-12
 - DNS、および～ 2-12
 - リース予約 2-13
 - RDU 2-4?2-5
 - 構成の生成 2-4
 - サービス レベル選択 2-5
 - フェールオーバー 2-5

- エージェント 2-19?2-21
 - BACC エージェント 2-20
 - SNMP エージェント 2-19
 - 管理者のインターフェイス 2-24
 - サンプルユーザ インターフェイス 2-24
 - 説明 2-2
 - 登録モード 2-3
 - 混在モード 2-3
 - 標準モード 2-3
 - 無差別モード 2-3
 - ローミングモード 2-3
 - プロビジョニンググループ 2-11
 - ロギング 2-22?2-24
 - DPE のログ 2-22
 - dpe.log ファイル、表示 2-24
 - アラートメッセージ A-1?A-5
 - Network Registrar 拡張ポイントのアラート A-5
 - NR_EP-1-106 A-5
 - NR_EP-1-107 A-5
 - NR_EP-6-108 A-5
 - NR_EP-6-109 A-5
 - NR_EP-6-110 A-5
 - RDU のアラート A-2
 - BPR-RDU-4-1140 A-2
 - RDU-1-101 A-2
 - RDU-1-103 A-2
 - RDU-1-111 A-2
 - RDU-1-115 A-2
 - Solaris DPE のアラート A-3
 - DPE-1-102 A-3
 - DPE-1-104 A-3
 - DPE-1-109 A-3
 - アラート、定義 3
 - エージェントのアラート A-4
 - AGENT-3-9001 A-4
 - AGENT-3-9002 A-4
 - AGENT-3-9003 A-4
 - AGENT-6-9004 A-4
 - AGENT-6-9005 A-4
 - メッセージ形式 A-1
- え
- エージェント、BACC アーキテクチャ
 - エージェント、定義 3
 - エージェント、BACC のアーキテクチャおよび～ 2-19?2-21
 - BACC エージェント 2-20
 - 監視対象プロセス 2-20
 - コマンドライン 2-20
 - DPE SNMP エージェント
 - MIB サポート 2-19
 - SNMP エージェント 2-19
 - エージェントのアラート（「エージェントのアラート」を参照）
 - エラーメッセージ、RDU A-6?A-9
 - AddReservation: AX_ETIME A-8
 - AddReservation: FORWARD_FAILED A-7
 - AddReservation: INVALID_OBJECT A-8
 - AddReservation: INVALID_PARENT A-7
 - AddReservation: INVALID_SECOND_PARENT A-7
 - AX_EIO A-9
 - AX_EPIPE A-9
 - OBJECT_EXISTS A-6
 - RemoveReservation: NOT_FOUND A-7
 - Selection-criteria exclusion tags ignored A-8
- お
- 音声サービスのサポート 1-2
 - Euro-PacketCable 1-2
 - PacketCable 1-2
 - PacketCable、ノンセキュア 1-2
 - オンライン状態
 - online、online(d)、online(pk)、online(pt) 状態 4-26
 - トラブルシューティング 4-10
- か
- 外部ファイル、管理 10-27?10-31
 - エクスポート 10-31
 - 削除 10-31
 - 置換 10-30
 - 追加 10-28
 - 表示 10-29
 - 概要
 - BACC 1-1?1-3
 - 機能と利点 1-1
 - サポート対象の技術 1-2
 - 加入者プロビジョニングの例 11-5?11-7

- 標準の顧客宅内機器登録 11-5
 - 新しいケーブル モデムと新しいコンピュータ 11-5
 - 既存のケーブル モデムと新しいコンピュータ 11-6
 - 既存のコンピュータの ISP、変更 11-6
 - 無差別モードの顧客宅内機器登録 11-6
 - 新しいケーブル モデムと新しいコンピュータ 11-7
 - 既存のケーブル モデムと新しいコンピュータ 11-7
 - 監査ログ、定義 4
 - 管理者のユーザ インターフェイス 8-1?8-8
 - BACC のアーキテクチャ、および～ 2-24
 - アクセス 8-2
 - スクロール 8-8
 - ナビゲート 8-5
 - Configuration メニュー 8-6
 - Devices メニュー 8-6
 - Main Menu 8-6
 - Nodes メニュー 8-7
 - Servers メニュー 8-6
 - Users メニュー 8-7
 - メニュー バー 8-5
 - ログアウト 8-4
 - ログイン 8-2
 - 管理者プロビジョニングの例 11-8?11-11
 - アカウントの検索 11-8
 - IP アドレスによる 11-8
 - MAC アドレスによる 11-8
 - アカウント番号による 11-8
 - アカウントの保守 11-9
 - アカウントの削除 11-11
 - 新しいアカウント、登録 11-9
 - ケーブル モデム、管理 11-10
 - コンピュータ、管理 11-10
 - サービス クラス、管理 11-9
- き**
- 共有秘密情報
 - DSS (DOCSIS 共有秘密情報)
 - DHCP、および～ 2-9
 - 説明 2-9
 - リセット 2-10
 - 設定ファイル ユーティリティ、および 12-31
 - 定義 4
- く**
- クライアントクラス、定義 4
- け**
- ケーブル モデムの状態、トラブルシューティング 4-10?4-32
 - DHCP
 - init(d) 4-18
 - init(i) 4-20
 - reject(pk) と reject(pt) 4-29
 - TOD 交換
 - init(t) 4-23
 - オプション ファイル転送開始
 - init(o) 4-25
 - オフライン 4-11
 - オンライン 4-10
 - 登録
 - reject (c) 4-32
 - reject (m) 4-31
 - レンジング プロセス
 - init(r1)、init(r2)、および init(rc) 4-16
- こ**
- 構成の生成、定義 4
 - 高度な概念（「ツールと高度な概念」を参照）
 - コード検証証明書階層 5-28
 - CableLabs コード検証 CA 証明書 5-29
 - CableLabs コード検証ルート CA 証明書 5-29
 - CVC の全般的要件 5-28
 - サービス プロバイダー コード検証証明書 5-31
 - 証明書失効リスト、CVC の 5-31
 - 製造業者コード検証証明書 5-30
 - 顧客宅内装置、定義 4
- さ**
- サーバ、表示 9-21?9-28
 - DPE、リスト 9-21
 - RDU の詳細 9-27
 - プロビジョニング グループ、リスト 9-26
 - サービス クラス
 - SUI の設定サンプル 11-3
 - 管理、管理者プロビジョニングの例 11-9

- 設定 10-2?10-6
 - クラスの削除 10-5
 - クラスの修正 10-4
 - クラスの追加 10-3
- サービス クラス (「サービス クラス」を参照)
- 削除可能ログ、定義 4

- し
- 冗長性、定義 4
- 冗長ログ、定義 4
- 証明書失効 5-28
- 使用例
 - PacketCable eMTA 上での SNMP クローン作成 C-41
 - PacketCable eMTA の差分プロビジョニング C-43
 - イベントを使用した RDU 接続の監視 C-32
 - オプティミスティック ロッキング C-46
 - 加入者の帯域幅、一時的なスロットリング C-48
 - 加入者のディセーブル化 C-8
 - 加入者のデバイスの登録解除と削除 C-13
 - 既存のモデムの交換 C-24
 - 既存のモデムの修正 C-12
 - 事前プロビジョニング
 - CableHome Wan-Man C-49
 - PacketCable eMTA C-39
 - 動的設定ファイルを使用した DOCSIS モデム C-45
 - 無差別モードでの最初のアクティベーション C-21
 - モデムおよびセルフプロビジョニングされたコンピュータ C-10
- 取得
 - CableHome Wan-Man のデバイス機能 C-53
 - ベンダープレフィックスに一致するデバイス C-37
- 使用例について C-1?C-2
- セルフプロビジョニング
 - CableHome Wan-Man C-55
 - NAT を使用した最初のアクティベーション C-26
 - 固定標準モードでのモデムとコンピュータ C-3
 - 無差別モードでの最初のアクティベーション C-16
- 追加
 - NAT を持つモデムの背後への新しいコンピュータ C-29
 - 固定標準モードでの新しいコンピュータ C-6
 - 無差別モードでの 2 台目のコンピュータ C-25
 - デバイスの詳細情報の取得 C-34
 - デフォルトのサービス クラスを使用した検索 C-35
 - ファイアウォール設定を持つ CableHome C-51
 - 別の DHCP スコープへのデバイスの移動 C-30
 - 無差別モードでの 100 個のモデムの一括プロビジョニング C-19
 - リース予約の使用例 C-58
 - BACC が CCM を使用しないときに送信済みバッチが失敗する C-65
 - BACC が CCM を使用するとき送信済みバッチが失敗する C-65
 - BACC からのデバイスの削除 C-64
 - 新しいデバイスに対する古いデバイスの IP アドレスの割り当て C-61
 - サービス プロバイダーの IP アドレスを使用したデバイスのオンライン化 C-58
 - 同一の IP アドレスを使用したデバイスのリブート C-63
 - 予約の削除と新しい IP アドレスの割り当て C-62
 - 予約の削除と再作成 C-60
 - リース予約の影響を受ける API コール C-58
- ロギング
 - イベントを使用したデバイス削除 C-31
 - イベントを使用したバッチ完了 C-33

- せ
- 静的設定ファイル、定義 5
- セキュリティ アソシエーション状態、および DOCSIS 設定 4-7
- 設定のワークフローとチェックリスト 3-1?3-14
 - 技術のワークフロー 3-7?3-14
 - CableHome プロビジョニング (ノンセキュア) 3-14
 - DOCSIS のチェックリスト 3-7
 - PacketCable のチェックリスト 3-8?3-14
 - コンポーネントのワークフロー 3-2?3-6
 - DPE のチェックリスト 3-3?3-4
 - Network Registrar のチェックリスト 3-6

- RDU のチェックリスト 3-2
 - Solaris DPE のチェックリスト 3-4?3-5
 - 設定ファイル、定義 5
 - 設定ファイルユーティリティ、使用方法 12-25?12-38
 - PacketCable BASIC フロー、有効化 12-38
 - 外部テンプレートファイルの解析 12-29
 - 実行 12-25
 - 使用方法 12-27
 - テンプレートファイルの解析と共有秘密情報の追加 12-31
 - バイナリファイル、外部、表示 12-37
 - バイナリファイル、テンプレートファイルへの変換 12-27
 - バイナリファイル、ローカル、表示 12-36
 - バイナリファイルの出力、指定 12-35
 - マクロ変数、CLI での指定 12-32
 - マクロ変数、デバイスの指定 12-33
 - ローカルテンプレートファイルの解析 12-28
 - 設定ファイル状態、および DOCSIS 設定 4-8
 - 選択タグ、定義 5
- た**
- 対象読者、このマニュアルの xv
 - タプル、定義 5
- ち**
- 注意
- 意味 xvii
 - 項目
 - BACC DHCP のオプション設定 3-6
 - BACC_HOME/kdc ディレクトリ 2-16
 - cnr_ep.properties ファイル B-1
 - DOCSISModem サービスクラス、追加 10-4
 - DSS、複数、単一のプロビジョニンググループ内 2-9
 - KDC 証明書、欠落 2-16
 - kerb auth nomTimeout、maxTimeout、および maxRetries B-2
 - MAC アドレスによるデバイスのトラブルシューティング 12-55
 - uBR7246 デバイスとデバッグ コマンド 4-7, 4-19
 - カスタムプロパティ、削除 10-7
- サンプル ユーザ インターフェイス 2-24, 11-1
 - ディスク容量の要件の数値 7-4
 - テンプレートファイル、削除 10-31
 - 評価ライセンス キーを使用したネットワーク展開 10-32
- つ**
- ツールと高度な概念 12-1?12-55
 - disk_monitor.sh ツール 12-54
 - Keygen tool 12-47?12-48
 - MAC アドレスによるデバイスのトラブルシューティング 12-55
 - NRProperties.sh ツール 12-45?12-46
 - PKCert.sh ツール 12-42?12-44
 - KDC 証明書、検証 12-44
 - KDC 証明書、作成 12-43
 - 実行 12-42
 - RDU ログ レベル ツール 12-39?12-41
 - 現在のログ レベル、表示 12-41
 - 使用方法 12-39
 - 設定 12-40
 - snmpAgentCfgUtil.sh コマンド 12-49
 - SNMP エージェント、開始 12-51
 - SNMP エージェント コミュニティ、削除 12-51
 - SNMP エージェント コミュニティ、追加 12-50
 - SNMP エージェント、停止 12-51
 - SNMP エージェントの設定、リスト 12-53
 - SNMP エージェントの場所、変更 12-52
 - SNMP 通知タイプ、指定 12-53
 - SNMP の連絡先、新規設定 12-52
 - SNMP リスニング ポート、指定 12-52
 - ホスト、削除 12-50
 - ホスト、追加 12-49
 - 設定ファイルユーティリティ 12-25?12-38
 - PacketCable BASIC フロー、有効化 12-38
 - 外部テンプレートファイルの解析 12-29
 - 実行 12-25
 - 使用方法 12-27
 - バイナリファイル、外部、表示 12-37
 - バイナリファイル、テンプレートファイルへの変換 12-27
 - バイナリファイル、ローカル、表示 12-36
 - バイナリファイルの出力、指定 12-35

- マクロ変数、CLIでの指定 12-32
 - マクロ変数、デバイスの指定 12-33
 - ローカル テンプレート ファイルの解析 12-28
 - テンプレート ファイル、作成 12-2?12-23
 - DOCSIS オプションのサポート 12-12
 - PacketCable オプションのサポート 12-23
 - SNMP Varbind 12-6
 - CableHome MIB 12-7
 - DOCSIS MIB 12-6
 - PacketCable MIB 12-7
 - 定義済みオプションの符号化タイプ 12-9
 - 文法 12-2
 - マクロ変数 12-7
 - ノンセキュア CableHome オプションのサポート 12-23?12-24
- て
- ディスク領域、監視 12-54
 - データベースの管理 7-1?7-8
 - RDU データベースの移行 7-8
 - 障害復元力について 7-1
 - ディスク容量の要件 7-4
 - 対処方法 7-4
 - ～に関する注意 7-4
 - 場所、変更 7-8
 - バックアップと回復 7-5?7-7
 - 回復 7-6
 - バックアップ 7-5
 - 復元 7-7
 - ファイル 7-2?7-3
 - DB_VERSION 7-3
 - 自動ログ管理 7-3
 - ストレージ 7-2
 - トランザクション ログ 7-2
 - 履歴ログ 7-3
 - デバイス管理 9-5?9-17
 - Manage Devices ページ 9-5
 - コントロール 9-6
 - 削除、デバイス 9-15
 - 説明 9-14
 - デバイス構成、再生成 9-16
 - デバイスの関連付けと関連付け解除 9-16
 - デバイスの検索 9-8
 - デバイスの修正 9-15
 - デバイスの詳細、表示 9-9
 - デバイスの追加 9-14
 - デバイスの登録解除 9-17
 - デバイスのリセット 9-17
 - テンプレート ファイル、作成 12-2?12-23
 - DOCSIS オプションのサポート 12-12
 - PacketCable オプションのサポート 12-23
 - SNMP Varbind 12-6
 - CableHome MIB 12-7
 - DOCSIS MIB 12-6
 - PacketCable MIB 12-7
 - 定義済みオプションの符号化タイプ 12-9
 - BITS 値の構文 12-11
 - OCTETSTRING の構文 12-11
 - テンプレート ファイルの定義 5
 - 文法 12-2
 - インクルード ファイル 12-3
 - インスタンスの修飾子 12-5
 - オプション 12-4
 - コメント 12-3
 - マクロ変数 12-7
- と
- 動作状態、および DOCSIS 設定 4-9
 - 動的設定ファイル、定義 5
 - 登録状態、および DOCSIS 設定 4-8
 - トラブルシューティング
 - DOCSIS ネットワーク 4-5
 - PacketCable 音声設定のシナリオ 5-13?5-16
 - PacketCable 音声設定のツール 5-12
 - Ethereal、SnifferPro など 5-12
 - ログ 5-12
 - PacketCable の eMTA プロビジョニング 5-8?5-11
 - 基本変数 5-10
 - コンポーネント 5-8
 - アラート メッセージ A-1?A-5
 - RDU のアラート A-2
 - Solaris DPE のアラート A-3
 - エージェントのアラート A-4
 - メッセージ形式 A-1
 - ケーブル モデムの状態 4-10?4-32
 - DHCP
 - init(d) 4-18
 - init(i) 4-20
 - reject(pk) と reject(pt) 4-29
 - TOD 交換
 - init(t) 4-23

- オプションファイル転送開始
 - init(o) 4-25
 - オフライン 4-11
 - オンライン 4-10
 - 登録
 - reject (c) 4-32
 - reject (m) 4-31
 - レンジングプロセス
 - init(r1)、init(r2)、および init(rc) 4-16
 - デバイス、MAC アドレスによる 12-55
- ね**
- ネットワーク オペレータ、定義 5
 - ネットワーク タイム プロトコル、定義 5
 - ネットワーク管理者、定義 5
- の**
- ノード、管理 9-18?9-20
 - Nodes メニューについて 8-7
 - 削除 9-20
 - 修正 9-20
 - 詳細の表示 9-20
 - 説明 9-19
 - 追加 9-19
 - ノードタイプ 9-18
 - 削除 9-19
 - 修正 9-19
 - 追加 9-18
 - ノードに対するノードタイプの関連付けと関連付け解除 9-20
- は**
- バックアップと回復、データベース 7-5?7-7
 - パブリッシング、定義 5
- ひ**
- 表記法、このマニュアルの xvii
- ふ**
- プライバシー状態の確立、および DOCSIS 設定 4-8
- プロビジョニング API、定義 6
 - プロビジョニング グループ
 - 説明 2-11
 - 定義 6
 - リスト 8-6
 - プロビジョニング データ、パブリッシング 10-36?10-37
 - データストアの変更 10-36
 - プラグイン設定、変更 10-37
- ま**
- マニュアル xviii
 - この製品に関連する～ xviii
 - 構成 xvi
 - 対象読者 xv
 - 使用されている表記法 xvii
 - マルチプル サービス オペレータ、定義 6
- ゆ**
- ユーザ、管理 9-2?9-4
 - 削除 9-4
 - 修正 9-3
 - 追加 9-2
- ら**
- ライセンス キー、管理 10-32?10-33
 - ライセンスの修正 10-33
 - ライセンスの追加 10-33
- り**
- 領域、定義 6
 - 領域名、定義 6
- ろ**
- ロギング
 - BACC のアーキテクチャ、および～ 2-22?2-24
 - DPE のログ 2-22
 - dpe.log ファイル、表示 2-24
 - RDU のログ 2-22
 - ログ レベル、設定 2-23

ログのレベルおよび構造	2-22
アクティブ ログ、定義	3
削除可能ログ、定義	4
冗長ログ、定義	4
ログイン、BACC への	8-2